



つばさ

唐津市立北波多中学校

— 令和7年6月17日 —
第6号 文責 校長 渡辺 景輔

〒847-1201 唐津市北波多徳須恵 303
TEL 0955-64-2009

【学校教育目標】

「**自他を大切にし 互いを認め合い 共に高め合う生徒の育成**」

◇ 避難訓練(火災)を実施しました ◇

6月11日(水)の放課後、避難訓練(火災)を実施しました。当日は、雨天のため体育館への避難となりましたが、生徒たちは言葉を発することなく、落ち着いて避難経路を確認し、静かに避難行動に移ることができていました。もしも、北波多中学校で建物火災が発生した場合、何分で消防車が到着するか、消防署の方に確認をしたところ、5分以内には到着するとの事でした。

今回の避難訓練では、避難指示の緊急放送から、体育館の避難終了報告まで、4分45秒でした。避難経路が室内だったため、走ることができず少し時間がかかりましたが、スムーズな避難ができたことを評価しました。

また、講評では2つの事を話しました。

①火災で一番注意すること

緊急放送の内容「ただいま、校舎1階調理室より出火中。〇〇〇に注意し、階段を使って素早く避難しなさい」。〇〇〇に入るものは何か。「煙」です。火災で一番注意することは、「煙」を吸わないこと。煙を吸ってしまうと、呼吸困難となり意識がなくなり、その場から動けなくなり、死に至ってしまいます。

②訓練の大切さ

今年1月に石川県で地震が発生し、^{すずし}珠洲市三崎町では、地震と津波で壊滅的な被害を受けました。この町では、大半を高齢者が占めていましたが、5分以内に高台に避難して全員無事でした。津波を目撃した方によると、「すごい速さで来ていた。逃げていなかったらと考えたらゾッとした」。この方は、「普段訓練をしていなかったら、みんな死んでいたかもしれない。奇跡じゃなくて、訓練が生きた」と真剣な表情で語ったそうです。

◇ 梅雨の時期、災害に備えて注意すべきことは？ ◇

①豪雨による洪水や土砂崩れに備える。道路の冠水。 ②落雷に注意する。 ③水や食料の備蓄。 ④天気予報のチェック。・・・他にもたくさんあると思います。

梅雨の時期に限らず、これまで経験したことがないような大雨が局地的に降っているような状況があります。今年の4月にも雨天時、奈良県で中学生・高校生の部活動中に落雷事故が起きました。今回は、避難訓練と合わせて、落雷事故についても話をしました。また、気象庁の動画視聴により、落雷事故を防ぐには、どのような行動を取ればよいのかも考えてもらいました。

【注意点】（気象庁の啓発動画より）

- (1)天気予報で気をつける言葉 → 「大気の状態が不安定」「天気が急に変わる」「雷雨」
- (2)積乱雲（大雨や雷を引き起こす雲）のサイン → 「黒い雲」「冷ッとした風が吹く」「雷」
- (3)雷は、金属を身に付けているか、いないかは関係なく落ちる。
- (4)雷の音が聞こえた時点で、10キロ範囲内は雷が落ちる可能性があり危険である。
- (5)木の下で雨宿りは危険 → 雷の音が聞こえたらしっかりした建物や自動車に避難する。

ぜひ、ご家庭でも子どもたちと日頃の備えについて話をしていただき、意識を高めて頂けたらと思います。まずは、正しい知識と行動で、自分の安全を確保することに努めてほしいと思います。

今年度から、唐津地区中学校体育連盟の総合体育大会（夏の中体連）においても、落雷事故防止のため、次のような防止策が取られることとなっています。

- (1)気象庁ホームページにて、雷注意報・警報や雷ナウキャスト等を確認する。
- (2)雷鳴や雷雲が近づき危険と判断した場合は、競技を中断し、選手、役員、観客を安全な場所へ避難させる。避難場所については、各競技要項（申し合わせ事項）に記載し、周知する。
- (3)全ての外競技において、中断後、最後の雷鳴から20分～30分間経過し、周囲の状況等を鑑みて競技を再開する。

◇初めての定期テスト頑張りました◇

先週、1年生にとって、はじめての定期テスト（前期中間テスト）がありました。小学校と比べテスト範囲が広く、問題量も多くなり、どのような問題が出るのかもわからず、不安だった人も多かったと思います。

結果はもちろん大切ですが、テストは、その範囲の学習内容が、どの程度定着しているかを知る目安となるものです。なぜ間違えたのかを解決し、理解することが、学習内容の定着につながります。ご家庭でもテストの振り返りをお願いします。

